

住民集会報告書



一色町役場を考える会

目 次

- 1 趣 旨・・・P 1
- 2 内 容
 - (1) 住民集会アンケート集計結果・・・P 2
 - (2) 結果のまとめ・・・P 5
 - (3) 市長への要望・・・P 6
 - (4) 振り返り・・・P 7
- 3 経過と概要
 - (1) 報告書作成までの経過・・・P 9
 - (2) 住民集会の概要・・・P 10
- 4 参考資料・・・P 11
 - (1) 自由意見一覧表
 - (2) 住民集会発言集
 - (3) 配布資料
 - (4) 新聞記事
 - (5) その他
- 5 アンケート原本（別冊）

1. 趣 旨

旧一色支所（本庁舎）は建築されてから51年が経ちました。西尾市と旧幡豆郡三町が合併して8年が経過し、公共施設再配置が実行される中で、旧一色支所（本庁舎）については、中村市長が平成30年3月公表した「西尾市方式PFI事業 検証報告書・見直し方針」において「利活用するか解体するかを引き続き検討する。」と示されております。

旧一色支所（本庁舎）の問題は、一色地区住民の生活に大きく関わるものであり、とりわけ周辺住民からは今後のあり方を問う声が多くあります。

私たちは、地元として住民の意向を行政に届けていく必要があると考え、6月25日に地元住民中心の検討組織発足へと8名が集まり、「一色町役場を考える会」を設立しました。会の設立後、計9回にわたり検討を重ねてきました。そして、より多くの意見を聞くための機会として11月11日に一色地域交流センターで住民集会を開催しました。

住民集会では地域住民に旧一色支所（本庁舎）のあり方を考えるのに必要な情報を提供し、会がまとめた4つの検討案に対しさまざまな意見をいただき、アンケート形式で投票を行いました。

このたび、住民集会でのアンケート結果や集会で出た意見を市民の声として、本報告書を取りまとめました。

平成30年12月18日

一色町役場を考える会

会 長 永 谷 和 昭
副会長 鈴 木 治
池 田 吉 平
太 田 利 和
神 谷 早 苗
久 保 田 芳 道
下 村 堅 二
鈴 木 美 幸

2. 内 容

(1) 住民集会アンケート集計結果

配布数 140 枚

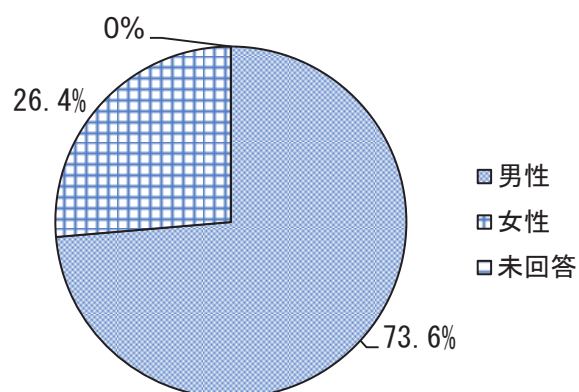
回収数 129 枚 (回収率 92.1%)

問1 性別は？

男性・・・95人 (73.6%)

女性・・・34人 (26.4%)

合計 129 人



問2 年齢は？

20歳未満・・・0人 (0.0%)

20歳代・・・0人 (0.0%)

30歳代・・・6人 (4.7%)

40歳代・・・9人 (7.0%)

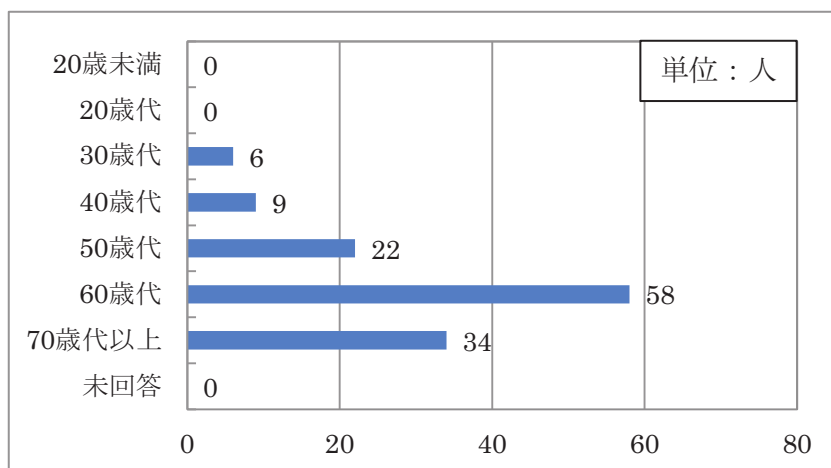
50歳代・・・22人 (17.1%)

60歳代・・・58人 (45.0%)

70歳代以上・・・34人 (26.4%)

未回答・・・0人 (0.0%)

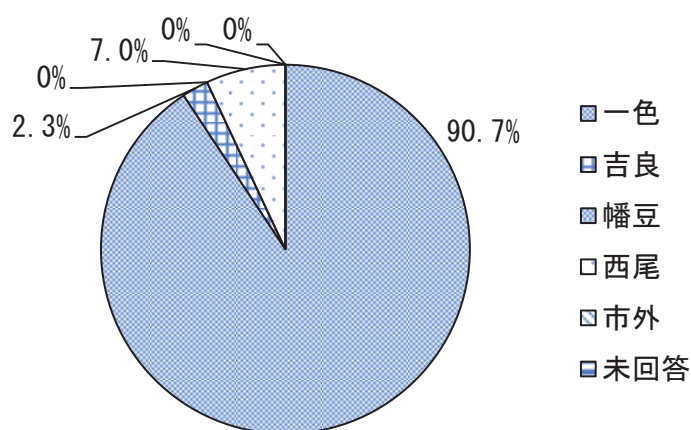
合計 129 人



問3 お住まいは？

旧一色町	・・・	117人	(90.7%)
旧吉良町	・・・	3人	(2.3%)
旧幡豆町	・・・	0人	(0.0%)
旧西尾市	・・・	9人	(7.0%)
市外	・・・	0人	(0.0%)
未回答	・・・	0人	(0.0%)

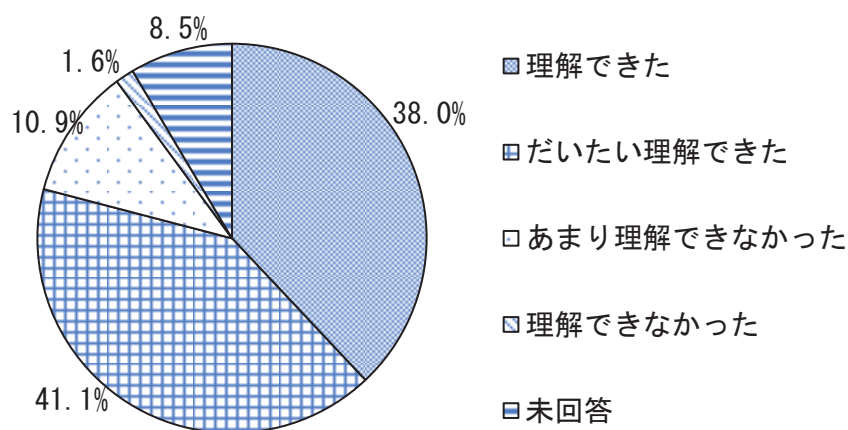
合計129人



問4 本日の説明の内容はどうでしたか？

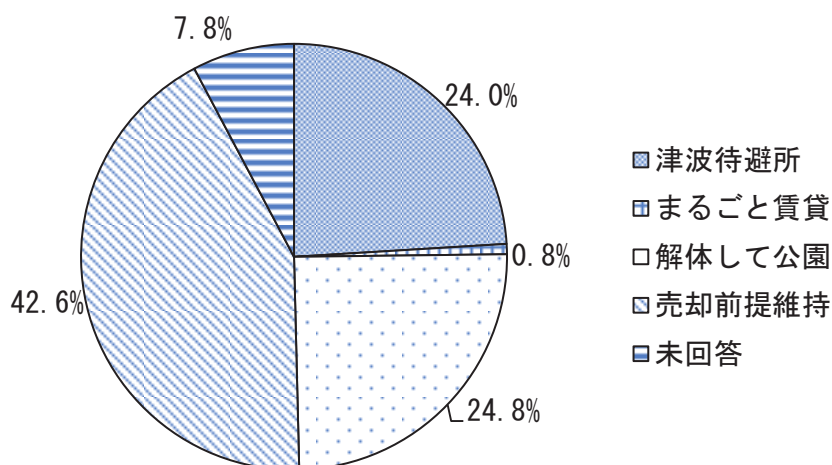
理解できた	・・・	49人	(38.0%)
だいたい理解できた	・・・	53人	(41.1%)
あまり理解できなかった	・・・	14人	(10.9%)
理解できなかった	・・・	2人	(1.6%)
未回答	・・・	11人	(8.5%)

合計129人



問5 考える会の検討案のなかで、一番良いと思われる案に○をつけて下さい。

- 案1 津波一時待避所として利用・・・31票（24.0%）
 - 案2 まるごと賃貸で活用・・・1票（0.8%）
 - 案3 解体して公園・・・32票（24.8%）
 - 案4 売却を前提に現状維持・・・55票（42.6%）
 - その他（未記入、判別不能）・・・10票（7.8%）
- 合計129票



（参考）問5 年齢別にみた検討案 （単位：票）

	案1	案2	案3	案4	未記入等	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0
20歳代	0	0	0	0	0	0
30歳代	0	0	2	4	0	6
40歳代	1	0	1	6	1	9
50歳代	4	0	0	17	1	22
60歳代	11	1	20	21	5	58
70歳代以上	15	0	9	7	3	34
未回答	0	0	0	0	0	0
計	31	1	32	55	10	129

(2) 結果のまとめ

◆ 参加者について(問1～4)

アンケート配布枚数が 140 枚であったことは、住民の意向を行政に届けていく必要があるとした住民集会や当会の趣旨からみると、参加者自体多くはなかったといえます。しかし、アンケート回収枚数 129 枚、回収率 92.1%という数字から、参加者の関心は高く、参加した多くの方が意見されました。

アンケート回答者の構成をみると、男性が 73.6%、女性が 26.4%であり、女性は少なかったといえます。また、年齢層では、20 歳代以下の回答者はおらず、30 歳代～40 歳代でも 11.7%と、若年層が非常に少ないものとなりました。居住地では、一色町が 90.7%となっており、地元の関心の高さが表れています。

そのような中であっても、集会の説明内容については、「理解できた」「だいたい理解できた」を合わせると 79.1%に上り、今回の検討案は、多くの人が市及び旧一色支所本庁舎の現状を理解した上で、選択されたものということができます。

◆ 検討案について(問5)

建物の存続案(案1+案2)と建物の解体案(案3+案4)では、存続案が 24.8%であったのに対し、解体案は 67.4%となり、建物の存続自体に固執していない結果となりました。

また、解体案(案3+案4)のうち跡地活用方法では、公園(案3)が 36.8%、売却を前提に現状維持(案4)が 63.2%となり、売却に一定の理解が示される結果となりました。

一方、存続案(案1+案2)のうち建物活用方法では、津波一時待避所として利用(案1)が 96.9%となり、年代性別を問わず圧倒的に支持される結果となりました。

さらに、売却を前提に現状維持(案4)では、住民集会の説明において、「売却されるまでは津波一時待避所として利用する」としたことから、建物の改修は必要としないものの、津波一時待避所として利用(案1+案4)とする回答率は 66.6%あり、多くの住民が津波一時待避所の必要性を感じているという結果となりました。

(3)市長への要望

◆ 旧一色支所本庁舎について、「売却を前提に現状維持」することを要望すると共に、慎重なる検討のうえ、できる限り早急な判断と実行をお願い致します。

その上で、

- ① 売却先は公共性のある機関(農協等)となるよう配慮してください。
- ② 現存の建物においても、売却後においても、津波一時待避所の機能を維持してください。

上記のことを踏まえ、市が中心となり売却後も引続き公共性のある機関との話し合いが進められるような仕組みづくりを検討してください。

①について

- ・アンケートの自由意見では、案4を敬遠した人たちの中に、一色の中心地の売却先が誰になるのか、民間に売却後跡地がどう利用されるかが分からないため、不安という声がありました。案4を選択した人の中でも、周辺住民の安心と、売却への理解を得るため、売却先を公共性のある機関(農協等)に制限するよう求める声がありました。
- ・民間の活力による地域の活性化を求める一方で、これまで官公庁街として地元根付いた安心を無条件に手放すことへの抵抗感は、売却の際に大きく影響するものと思われます。売却先は、営利目的に特化した企業ではなく、市の施策への理解があり、今後とも長きにわたり地域住民と協調していけることが求められています。
- ・売却先を募集する際には、津波一時待避所機能を担うなど、市の施策に協力することが可能な機関が応募しやすくなるよう配慮してください。また、当面維持することとした老人福祉センターについても、その機能を確保できるよう合わせて検討していただくようお願い致します。

②について

- ・地域住民は、津波一時待避所の必要性を強く感じています。アンケートの自由意見では、現在の建物を解体して津波避難タワー等の建設を求める声もあり、例え売却された場合であっても、その要望は無視できるものではありません。
- ・また、現在バリケードで囲まれている状況についても、せっかく建物が残っており、残存耐用年数もあと10年あるとされているにも関わらず、災害時に利用できないのではあまりに残念です。早急にバリケードを撤去し、津波一時待避所としての利用に支障のないよう対応していただく必要があると考えます。
- ・売却後の土地利用においても、当面存続する建物においても、災害対策に最大限配慮し、津波一時待避所機能の維持に公的資金の投入を含め最善の対応をしていただくようお願い致します。

(4) 振り返り

当会の発足準備も含めて良きブレーンに囲まれ忙しくも充実した日々でした。住民集会後、真摯な意見が寄せられて喜ぶ一方で、その集約に苦悩しました。多数意見の尊重は当然ながら少数意見にも貴重意見があると自問自答が続きましたが、優秀なブレーンとの協議で取り纏めることができました。

それが「市長への要望」です。市長のご心労を拝察しつつも、ご高察ご賢察を心よりお願い申し上げます。

永谷 和昭

会のメンバーとの出会い、何回も実施した検討会での自由で闊達な意見交換、住民集会での緊張感、取りまとめの難しさなど、たくさんの経験をしました。

一番の感謝は、住民集会へ参加して下さった皆さんにです。一色を含め、市や地区の将来について、語り合い、意見交換ができる機会と場ができるといいな。若い人たちが参加したいと思う場になるように。

鈴木 治

今回「一色町役場を考える会」のメンバーの一員として「旧一色町役場」を今後どの様にして行くのかと、話し合う機会を得ました。

今迄のPFI事業市民アンケートの結果、意見交換会や市民アンケートからの貴重なご意見を参考に、また「旧一色町役場」の建物が現状どの様になっているのかと資料内容を認識する事が出来ました。

総合的なデータ、貴重なご意見を基に何度も無く話し合い、検討して「一色町役場を考える会」が取りまとめた4案を住民集会で地域住民の皆さんに報告し、更にご意見を募る場として平成30年11月11日「住民集会」開催に至り、提案した4案に理解と共に貴重なご意見も有り、良かったと感じました。

これらの総合意見を取りまとめ市長への報告、要望として市政に届け、行政は本報告書を尊重し今後の見直し方針に反映されるべき具体案を早期に着手し、実施していくよう強く要望します。

池田 吉平

一色町役場は小学生の頃の写生大会やスロープを使って友達と遊んだ思い出がたくさんあり、今でも見ない日のない程の役場がなくなるのはとても悲しいと思っていました。

しかし、感情ばかりではなく、今回の考える会で勉強し現実を見ると、一色町役場の未来は今の建物のままでは、耐用年数や地理的なこと、交通の便を考えると、とても使い道が難しいと考えるようになりました。

住民の方すべてが満足するまちづくりをするのは、年齢や住む場所などいろいろな条件により、とても難しいことだと実感させられました。しかし、今回

の案の中で、4案の売却は住民のアンケートや意見、防災の全て叶えられそうな感じがします。また、公共性のある民間(JA)案は、将来の動線やまちづくりが一色町にとって良い方向に向かうと思います。

今回の一色町役場の件がうまく進めば、良いPFIのやり方の見本ではないでしょうか。

会の皆さんとの出会いに感謝と感動です。ありがとうございます。

太田 利和

自営業に嫁いで半世紀、ご縁がありメンバーに入れていただきました。時代の流れに押され今の町は残念。

子供、孫の時代に楽しい住みやすい町になってくれればと切に思います。この8人のメンバーで良かったです。

神谷 早苗

【大山鳴動】郷土の歴史を育んだ拠を次世代に引き継ぐ集いに、参画できたことは望外の極みでした。

久保田 芳道

私は地域行政に特段関心が強かったわけでは御座いませんが、代表町内会長・町内会長のご推薦を頂き、また地域の大きな問題でもありましたので「一色町役場を考える会」に参加させて頂きました。

当初、旧役場を存続していく考えでしたが、様々な情報を整理していく中で、公共性の高い農協などに売却し更に津波一時避難機能を両立する考えに変わっていきました。

住民集会を終えて、若い人の参加が少ない事を残念に思うとともに、全世代が地域の問題を考えて、その意見を集約する事の重要性を感じました。

西尾市が皆んなで考えられる街、皆んなでつくる街になる事を祈念致します。

下村 堅二

今回、考える会のお話をいただいて、何かを始めることがこんなに大変なことと実感致しました。素敵なチームの一員に加えて頂きありがとうございました。住民集会を終え、支えあう住みよい町にと思います。

鈴木 美幸

3. 経過と概要

(1) 報告書作成までの経過

6月25日(月)	19時～22時	「一色町役場を考える会」発足
7月5日(木)	16時～16時30分	市長へ設立報告
7月23日(月)	17時～18時	現地確認
	19時～21時30分	検討会(第1回)
9月3日(月)	19時～21時30分	検討会(第2回)
9月18日(火)	19時～21時	検討会(第3回)
9月28日(金)	19時～21時30分	検討会(第4回)
10月6日(土)	19時～21時	担当者会
10月9日(火)	19時～21時30分	検討会(第5回)
10月20日(土)	18時～21時30分	担当者会
10月24日(水)	19時～22時30分	検討会(第6回)
10月31日(水)	10時～11時	会場音響確認
11月1日(木)	19時～21時30分	リハーサル
11月11日(日)	18時～20時	住民集会
11月19日(月)	19時～21時	集計作業
11月27日(火)	19時～21時30分	報告書(案)作成
12月7日(金)	19時～22時	報告書作成



アンケート集計作業

(2) 住民集会の概要

日 時：平成30年11月11日（日）午後6時～8時

場 所：一色地域交流センター カーネーションホール

参加者：140人

- 次 第：1. あいさつ・メンバー紹介
2. 集会の開催趣旨
3. 経緯の説明
 (1) 考える会発足までの経緯
 (2) 公共施設再配置の基本方針
 (3) 旧一色町役場本庁舎の現状
 (4) PFI事業市民アンケート結果等
4. 検討案
 案1 津波一時待避所として利用
 案2 まるごと賃貸で活用
 案3 解体して公園
 案4 売却を前提に現状維持
5. 質疑応答
6. アンケート記入・提出



住民集会

4. 參考資料

(1) 自由意見一覽表

自由意見一覧表

(1) 案1と回答した方の意見

案	自由意見
1	今回は案1ですが、もっと良いアイデアを考えたほうが良いと思います。
1	公園施設としての整備にプラスαとして防災施設を組み込んだものを検討
1	残存耐用年数10年の根拠。4案のベースにあるこの数字の根拠はどこからの引用でしょうか。世の中には築50年をはるかに超えるコンクリートの建物は数多く、しかも公共建築物として利用されているケースも多くあります。コンクリートの中性化を止めるような技術。あるいは構造材(鉄筋コンクリート)の補強による耐用年数の延伸等十分検討しつくされたのでしょうか。耐用年数が結果長くなれば全ての考え方が一変するかもしれません。高度な解析を是非試みる価値は十分あると考えます。皆さんの活動に敬意を表します。市民によるまちづくりの芽吹きを感じます。これからもがんばってください。応援しています。
1	よくまとめられていると思います。本当にご苦労様です。
1	公共施設再配置の基本方針の中で新しいものは作らない！とありますが、これはおかしい。必要な施設は絶対に作るべきだと思う。私は”想定外と言う言葉はもう使えない”という教訓から、案1を10年(残存耐用年数)利用し、解体の後新しい津波避難施設を作るべきだと思う。
1	当初市が行った偽りの説明資料に基づく説明会を行った反省がこれまでない。そもそも、当該建物がIs0.90以上にあること(多くの文教施設がIs0.75である)を市民に周知していない。躯体コンクリートの中性化についてはすべての公共施設を調査したうえで言及願いたい。本件津波一時退避所としての活用がベスト。改修費用5億は過大。一時避難であって、照明等の電源は地区の発電機の活用を検討する。10年間の安全担保として当面活用されたい。※本当は小、中学生に聞かないかんことだぞ。
1	社協の施設、公共の施設として利用できる方法。案1を維持できる方法を考えていく。
1	社協の業務はどこで存続される予定ですか。案1の中で共生福祉施設の活用を考えて行けるとよい。
1	現在の建物を活かす(例え10年でも)。津波避難が一色の最大の課題。避難所(浸水区域外)が遠いため、近くの避難所は大変不足している。建物が使える間は10年間用途を確保(避難所)しておき、この10年間に命山等他の避難所を増加する措置を実行する。そして、10年後は別の避難所設置で他の避難所設置ができた後、民間売却する。一色中学校(移転)という意見は大賛成。
1	老人福祉センターの代替施設として利用してはどう。市職員がいないと管理が難しいと思います。
1	耐用年数10年なら解体して、一時待避所として利用したほうが良い。立駐の形にして、通常は文化的なことで使用する。一色町全戸対象でアンケートしたら。検討案をもっと増やす。

自由意見一覧表

案	自由意見
1	今回、みなさんでこの会を立ちあげてもらい、ありがとうございました。新しい建物を建てて、その一部待避所を設けても住んでいる人、働いている人以外の避難人数はどれほど受け入れられるのか？そう思っていました。待避所は待ったなしの状況です。いざという時のために待避所は必要不可欠一色町避難先が安全という場所が少ないです。費用がかかっても地域住民等に集会他イベント等使いながらの避難所をお願いしたいです。
1	昨年度の案1の方向で使用方法を検討して欲しいとの要望が市長よりあったにも関わらず、なぜこんな内容の集会になったのか。バリケードを即撤去し、使用希望団体に貸し出すべきだ。考える会は今まで何をやってきたのか非常に不満だ。
1	避難所が他にないので残して欲しい。
1	一色支所のバリケードをずらして(一部)南北の生活道路を通れるようにして欲しい。

(2) 案2と回答した方の意見

案	自由意見
2	「新しいものは作らない」との方針は、市全体の方針であって、一色町役場の跡地で新設しないということではない。案2と案4の関係から、老人福祉センターの代替え、子育て支援センターなど必要になっていると思う。そのことを考え、新設するか、案4の売却の条件にするなどで考慮することを要求したい。

自由意見一覧表

(3) 案3と回答した方の意見

案	自由意見
3	公園内に地域共生型福祉施設の建設。社協が主体となり地域が協力して統合福祉施設として全年齢が利用できる施設とする。屋上を避難所地して利用。
3	更地にしてその後考えましょう
3	検討以外の提案。永谷会長に別添資料(図面)を提出済み。検討するよう要望書として提出。
3	解体して老人福祉センターや一色高校和太鼓の練習ができる場所とか色々活用できるように、2階3階を津波防災として使える場所。
3	社協、福祉センター等を考慮してくださればありがたいです。
3	防災面の利用も考えられるが、10年しか利用できないとすると、一度更地にして公園だけでなく、駐車場として利用するのはどうであろうか。(現在の一色公の駐車場がないので、この面での利用も考えられる)イベント(一色商工まつり他にも活用できる)のではないか。
3	解体して一色公共施設を総合的に配慮して新しい施設を考えて欲しい。
3	案3に賛成ですが、公園内の施設にあたって老人福祉関係を作って欲しい。
3	公園はいらない。更地。
3	解体して公園。その中に津波避難所を設置。
3	御苦労さま。負の財産or正の財産になるか？
3	現在公民館周辺の改修工事により住民の利用設備はまかなえていると考える。老人福祉センターがかなり老朽化しているので福祉センターとなる施設があればいいと思う。公園を交流の場として活用して欲しいと思います。津波避難所となる施設は必要であると思います。市営住宅を考えても良いのでは？
3	案1はダメ。平素利用しているものを災害時に活用するのがスジ。 案2は住民の利用が高いとは、およそ思えない。 案3が一番能無しの案。やむを得ないか。 案4は、地の利は良いが、Aコープとなりの空き店舗が埋まらない現状。農協移転。 案5で解体して福祉施設に。

自由意見一覧表

案	自由意見
3	会を立ち上げていただいたことに感謝しております。引続き何度も話し合いをしたほうが良いのでは？時間がないと言わずもう一回開いていただきたい。
3	案3+α
3	解体して公園+津波避難所(タワー)
3	10年で解体しなければならないので、そこに5億出すのはもったいない。 解体して公園よりも一色中学校を作ることは可能か。一色中学校は古くなってきているし、海に面しているのが危険である。学校がここに作られれば避難所にもなるのではないか。公共施設を作らないとのことであるが学校もその中に含まれるのか。校舎を建てて他は既設のものを利用することができる。
3	土地の活用としてよく考えられています。今後子どもたちに残すことが大きな負担になってしまうと思うので、残さないほうが良いと思います。売却は…売れないと思うし、どのように使われるかはわからないから…。 一色中学校を移転した方が良いと思います。一色中学校の場所はとても危険だと思います。 この会場だけのアンケートで決めず、全戸アンケートを行っていただきたいです。
3	解体して空き地にした後、民間に売れない場合に公園というのはどうか。 仮に公園とした場合に、9,000㎡というのは駐車場も含めて魅力ある公園となるのか？
3	永谷会長はじめ役員一同には本当にご苦労様です。しかし、中部校区にプラスαか大字一色にプラスαで東部、西部の代表町内会長さんは？全町の意見を聞いてほしいし、全町から役員を選んで欲しい(多数、せめて50人)。 案4の売却については出来た金額を全部西尾で使うということですよ。街の中心地を売るということは大反対です。 2, 3の意見がありましたように社会福祉協議会をはじめ老人会のあそび場として利用してほしい。そして上の階に待避所として利用できたらいいな。
3	解体して売却する。その中に必要なだけ残して、老人福祉センターの地域の人が集まる場所を作る。今ある公園はそのまま残して、一部売却したお金を使って、老人福祉センターを引越して来たら良いと思います。
3	案から選択するのは難しいです。公園はいらない。
3	解体して代替の物を作って下さい。避難所が近くに欲しいです。
3	中途半端な建物は維持にお金がかかる。一旦解体して、公園でしばらく置いておき再度利用を考える。アパートに住んでいる人たちが北へ抜ける道路が塞がれている。早く通れるようにしてください。

自由意見一覧表

(4) 案4と回答した方の意見

案	自由意見
4	考える会に議員さんも参画し、住民参加(子供から成年、老人を含め)
4	PFI案(多機能型市営住宅)がベスト
4	一色保育園、中部保育園が古くなってきており両保育園を統合した新しい建物を建設したらどうか。
4	売却先が決まるのであれば、案4で。バリケードは必要かどうか、なくても良い。見栄えが悪い。
4	一色町北部に一時待避所を建てて欲しい。
4	例えば、一色町であれば農協支所が3つもあり便利かもしれませんが一カ所にまとめるとか？これも1つの案です。信用のない、へんな事業所はダメです。
4	一色の中心地にあるので、にぎやかになる物を早く考えてほしい。町の人負担にならないようにすることが良いのでは。民間の力が必要かも(売却)。将来の市民の負担を少なくすることが必要。
4	公共性のある民間に売却して、その民間から老人福祉とか商工会などが借りるなどして、みんなが集まれる様な場所に出来れば良いと思います。頑丈な建物がこころ辺にはないので津波とか避難場所が確保したいので公園は反対です。
4	理想は案2です。現実には案4がBESTだと思います。農協へ売却はどうでしょうか。
4	老人福祉センターでの活動も今後不安の無いように考えて欲しい。 一色地区の住民の意向を第1義に進めていただきたい。一色の核(中心地)で有り続けたい。
4	案4に賛同しますが、案3も捨てがたいと思います。
4	跡地をJA西三河に売却し、JA中部支店の移転先の候補にさせていただきたい。その上に防災施設を備えたもの抱き合わせて契約していただきたい。
4	市に負担させないで売却するべき。農協とか団体組織に売り込む。病院・中電とか。税金を当てにしないで売却。
4	「考える会」の皆様。一色町で初めてこのような集会開催にこぎつけてくださり心から感謝いたします。 客観的事実・データを住民の皆さんが理解してより良い案へとつながることを願っています。 会の皆様、短時間の間に公共施設再配置の根幹をよく理解していらして感心しました。

自由意見一覧表

案	自由意見
4	売却先は十分検討し決定する。
4	一色町の中心地である。人々が集える街に賑わいができるような土地活用をして欲しい。公共と民間の併型の施設利用も考えられる。例：JA施設と福祉施設の併用等
4	あいさつ～経緯の説明時間が長すぎる。本日の限られた時間の中で、貴重な時間(次第4 検討)に使う時間を多く確保して欲しかった。
4	愛知経済連に売却してください。安城厚生病院のミニ施設ができるなら、なおうれしい。
4	老人ホームを作る会社に売る。(一時避所としてもお願いしたい)できれば産婦人科と小児科の病院が併設できればなおいい。
4	<p>PFI手法の是非は別にして、4案のメリット・デメリットを総合的に最も解決するのは「多機能型ビル」にして、その中に公営住宅を移転させれば良い。PFIの「多機能型市営住宅」に似たものになるけれども「既存公共施設」の移転ですから「基本方針の新しいものは作らない」の条件に合致し、中心部の「にぎわい」もできますし、「避難場所」「費用」の問題も解決します。財源は「合併特例」の普通交付税から投入すれば良い。必要なものには「税金」を投入すべきです。</p> <p>配布資料の(市民)アンケートのフォーマットがおかしい。(市が作成)「多機能型市営住宅を建設」とありますが、建設するためには”解体”しなければならず、「住宅を建設」を選ぶ人は”解体”を選んでいる可能性が高い訳です。〈一色地区〉多機能建設+解体→39.8% ←→ 解体せず(48.7%)</p> <p>資料の中の(市民)アンケートの本来の選択肢は、①旧一色支所を「解体」?で「Yes(解体)」or「No(存続)」 → ②「解体」後、何に使うのか?「多機能型住宅」or「その他」 このアンケートフォーマットの作成には「多機能型市営住宅を建設」の項目を選択した項目と数を減らすための意図(市側)があると思います。</p>
4	<p>PFI事業市民アンケート結果では旧一色支所を解体し跡地を有効利用を検討が最も多い25.3%でありこれが民意。</p> <p>案1と案2はあり得ない。残存耐用年数10年の施設を残してどうする。解体を前提に進めるべき。解体前提でもっと多様な案があると感じた。</p>
4	小中学校(保育園共)の長寿命化含め検討関連すべきでは。一色町全体の公共施設の寿命とのバランスを考慮。
4	10年しか持たない建物にこだわる必要はない。
4	みなさんおつかれさまでした。
4	市民主体でよく開催されたと思います。ただただ感謝いたします。
4	中部農協に土地をかってもらう。もしくは交換してもらう。(中部)農協跡地を一色交流センターの駐車場にする。

自由意見一覧表

案	自由意見
4	年齢問わず、異世代の人々が集まれる場所。小学生・高校生・主婦・老人が集える場所。家で介護に携わっている人・赤ちゃんを育ててる若いお母さんの息抜き、ストレスを助けられる。会話がはずむ所に。細かい手続がなく、一区画では常設の健康相談コーナーを、また一色高校のタイコの練習等、誰でも参加していける体験型・とにかく人が集まる所、絆がもてる所。今年は商工まつり、芸能まつりなど分散して行われたが、やはり1度にやれる所として活用してもいいのではないのでしょうか。
4	ただし現在の福祉(包括支援)センターも老朽化しており、その場所は確保するべきと思う。 質疑の中にあつた上から目線で案にケチをつける発言者がいたことは誠に残念に思います。この類の意見には屈しないよう頑張ってください。8人のメンバーのご尽力に感謝するとともに今後も見守って行きます。
4	市長がダメですね、話になりません。
4	津波対策が不十分な現状では、既存建物の活用を考えざるを得ないため案4を消極的賛成。旧一色町住民の安全が確保されないで「街づくり」を考えることなど到底出来ない。この点を十分念頭に町の活性化、住民福祉の向上など考えるべきである。一色中学校の「対米団地」への移転を強く要望する。
4	公的な、または優良な企業が買収して活力ある施設を建設して、この地の活性化の引き金となることを望む。
4	おおよけの民間に売却して、有効活用して欲しいと思います。たとえばJA。現JAの跡地は駐車場として活用して公民館の駐車場利用してもいいですね。
4	10年の縛りが有るので案4を選択しました。売却先はある程度、公共的な又は町民市民が利用できる5階建ての物件が良い。例えば今後高齢化が進むので老人介護施設に指圧、骨折診療施設、また人が集まるコンビニ等も併設しても良いと思います。屋上は災害時に避難場所として利用できるように。
4	旧庁舎の課題はPFIの問題と重なり、住民意見も収集のつかない状態です。住民の声にならない声を拾うのは難しいと感じました。市、議会は具体案を提案していただき住民の意志を確認すべきかと思います。
4	考える会を開催して下さっただけでも感謝しています。とても良い案を出して下さいましたと思います。良い結果が出ると良いと思います。
4	今のままではダメ。一日も早く進んで欲しい。

自由意見一覧表

(5) 検討案に対し未回答・判別不能の方の意見

案	自由意見
0	いずれの案にも賛成できません。一色町の将来に向けた発展的展望が窺えません。意見にあったように新たな案を提示して下さい。
0	感謝します。この場をもうけていただき。案3の公園にするを前提にして、公園の中にカフェや地域集会の場ができると良いと思うので案4も取り入れたものがないかなと思いました。10年間しかもたないものであれば必要ない。アスベストの問題もあるし、早くバリケードを取り除いてほしい。
0	避難所兼共生施設。第5案をみなさんや考える会でも良かったのではないのでしょうか。とにかく声を上げましょう。
0	東部校区への津波避難施設の建設が3カ所程度予定されている中でのこれ以上の避難設備は不要。 又、公園も近隣住民が利用するのみでありあまりにも利用価値が低い。 残存耐用年数10年の縛りがあり解体を前提に利用方法の検討が必要。 売却も買い手の用途によっては環境悪化を招く可能性もあり、利用制限付所有権売買も現実的ではない。 よって、解体後の跡地に商業施設建設を計画してはいかがでしょうか。第三セクター方式にて一色町内の商店の入居、その他若者の喜ぶような店舗の募集等により町内にお金が落ちる方策を検討し町内活性化を積極的に推進すべきだと思いますと同時に、そのチャンスと考えます。特色ある店舗構成にすれば集客は可能と思います。
0	解体して売却する。(JA一色本店に移転してもらえないか)
0	集会の最後の質疑応答でそれぞれの気持ちがあり、どれが一番いいとは今の私には…まだわかりません。もっとたくさんの人にこの集会に参加してもらおうと良いと思いました。
0	第5案を提案します。解体して公園ではあまりにももったいない。解体して現在の社協(老人福祉センター)の機能を持った建物を作り、誰もが自由に利用できるコミュニティセンター的なものを作って欲しい。
0	一色町全体で発足してほしかった。
0	解体もやむを得ないが一色町の中心部であるため公共性の高い場所として欲しい。 民間に売却する場合も公共性の高い施設になるよう(病院、スポーツセンターなど) 現状の建物が老朽化していると言えどもかなり丈夫で、一般住宅より何倍も強いと思われるので避難所だけでなくいろいろなものに利用して欲しい。一色支所に戻す。 PFIありきの耐用年数調査であると思われるので、市で予算をとり再調査や補強の費用を算出してみてもどうか。

自由意見一覧表

案	自由意見
0	<p>第一ですが、会場でいくつか意見が出されましたが、現在のおおむねの床面積も判らないままの議論で、さらにその意志があるかないかも判らない、議論がされました。</p> <p>第二ですが、実施にあたっては事業費規模が問題になってくると思います。老朽化の延命が技術的に可能か、費用はどのくらい掛かるかも大きな問題になってきます。</p> <p>こうした意見を取りまとめるためにも、どうしてもさらなる詳細な資料、検討が必要です。その為に市からの情報提供、「会」での資料収集・調査が必要だと思えます。役場のあり方については早急な検討も必要ですが、来年度の上半期に一定の方向性が出るように市に対して財政援助を求めたいと思います。今年度の補正予算が駄目なら、来年度の当初予算に盛り込んでもらえるように要望をしたら良いと思いました。</p>

(2) 住民集会発言集

住民集会発言集

日時：平成30年11月11日（日） 午後6時から8時

場所：一色地域交流センター カーネーションホール

質疑応答

発言者1

まずもって、こういう場所を設定していただいたということで感謝申し上げたい。というのが私の最初に感じたことです。会長はじめみなさん大変努力されて、この場を設けていただいた。また市に対して、そういう窓口をこじ開けてくださった、ということに対して本当にありがたいな、と思います。ありがとうございます。

4案作っていただきどの案も、それぞれに理由がある。ただお金の問題がどうしても絡んでくる。私個人的な意見は、3案の公園を作るということと、そこに新たな施設を作ってもらわなければなりません。市ではなく一括して民間に任せるという案もありますが、それをやると何が出てくるかわからない。極端に言えばまたアパートが建ってくるかもしれない。そういうものであれば元のもくあみになっちゃいますので。あの土地は住民の宝でありますし、住民の財産です。財産として残してもらって、後々の若い人へ一色町の財産として引き継いでいってほしい。

支所の前に老人福祉センターがあります。そこは解体することが決まったのでしょうか。今度のアパートを作った時に、1階部分に福祉センターを入れようということになっていました。そこに社協が入るためにはそれなりのお金を用意しなければならない。

地域の人達が、赤ちゃんからお年寄りまでが利用できる、共生するための施設。他の市町村でもあります地域共生型の福祉施設。背の高いのを作る必要はなく、せいぜい2階建てで十分だと思いますが、そういう施設を作って残りを公園にして、学生たちに開放するというものを、考えていただきたいなと思います。

なぜか言うと、今度一色福祉センターが取り壊されたら社協の行き先が無くなるんです。新たな建物に社協が入ってもらえれば、市としても経費が浮きます、住民に対する負担も少なくなってくると思います。なおかつ住民がそれを利用することによって、みんなの力を結集することによって、老人サロンとか社協が盛んにやっています。そういうものを作ることができると思います。以上です。

発言者2

今日参加したのは、一色支所の建物が好きなので、本当は残してほしいという強い思いがあったのですが、今日参加して案を見て、耐用年数10年ということは、そうだろうと思えます。売却しちゃったほうが良いのかもと思います。というのは、こんなに立派な公民館があって、西尾から来たのですが、意外と公共性があるのもう十分じゃないかなと。

例えば一色中学校が移転するとか出来ないでしょうか。身内が一色中学校に通っている時に、震災があつて、津波が非常に心配。あんなところに中学校があつて、おかしいんじゃないか。

例えば一色といえば高須病院とか、漁協などは港湾の方に新しい進歩的な建物ができましたので、あとはカーネーションとかきゅうりとかの農協さんとか、病院とか公共性の高いところに上手く売り込めないかなと思いました。

考える会

貴重なご意見をありがとうございます。

さきほどの一色中学校の移転の話で、私の孫も来年から一色中学校に通いますが、地図上で見ますと海に近いので、現在一色中学校の敷地が6 haです。現在の一色支所の場所は1 haということで物理的に難しいのかなと。

科学的に調査したわけではありませんが、中学校のあそこは昔から高台だよと拝聴しております。中学校の移転は物理的に無理だと思います。

ご提案いただいた意見はもっともで賛同するところも多いのですが、子育て支援センターは多世代交流プラザもあります。その施設を活用できるように働きかけた方が近道かなと思っております。

考える会

一色中学校の面積ですがha（ヘクタール）で表現しましたが、現在の一色中学校は約60,000㎡、旧一色支所は約9,000㎡であります。単位がわからない方がみえればそういう単位であります。

発言者3

津波一時避難所というのが必要だと思うのですが、管理人がいないとどうなるのかなと、困るのではないかなと。

当初の計画では多機能の市営住宅ができる予定でした。一色の庁舎の調査では2階は30年使えるという結果が出ていたと思うんです。そういう意味では資料では10年と書いてありますが、上は10年かもしれません、2階は30年でしたので、有効に活用して頂くなら、ここに老人福祉センターを移転してもらって、津波やら避難所として利用するなら職員がいるところで、そういう施設を併用できるのではないかと思います。運営費でも今の老人福祉センターの費用で賄えると思いますので、そういう点でもプラスになると思います。みなさんの意見を聞きたいと思います。

考える会

おっしゃられるとおり、2階は30年、しかし残念ながら1階は10年、3階も10年。ですので、1階をなんとかしないと、下の階の耐用年数が来ってしまうという現実があります。

発言者4

今日の会合を開いていただいたことに会長をはじめ、メンバーの方、取りまとめについて感謝いたします。

3案の解体後公園とありますが、先ほど言われた地域共生型ないしは役場の場所が活気ある場所にし

て残したいと思います。

先ほどの老人センターの改修の件も承知しています。これを含めた意味で、先ほど会長に素晴らしい地図（原案）を提案してあります。4つの案からは外れますが、3案の一部として考えていただけたら、市の方に回答書を出す時に、その図面も添えて1つの案として添えていただきたい。

その内容は、地域共生型の町の中心地であるような活気のあるものを作りたい。老人ホームは老朽化します、これも必要です。あとB&Gがなくなりました。そのプール、公民館、当初計画にありました住宅も含めて、総合的に踏まえ、子供から老人まで。それらを含めた、対案を会長に届けてありますので、一度目を通していただき、市に対して添えてご提案いただければと思います。今回この会場に100名ほど見えると思いますが、参加意識を高めなくてはいけない、市だけに任せておいてはいけない。住民も積極的に意見をいうことも必要だと考えます。

考える会

熱意に感謝いたします。先ほどの方から資料を直接頂きまして、まだ目を通しておりませんが、われわれメンバーの方で検討させていただきます。

考える会

先ほど言われましたとおり、住民が声を出していく。先ほどの趣旨でも申し上げましたが、一色地区、西尾市全域でそのようなものが出ると良いと思います。

発言者 5

根本的な質問ですがこの会は何名みえるのですか。

考える会

ここに座っている8名です。

発言者 5

いまこの会場を見渡しても老人が多い。この集会をやった後どのように進めていくのかを聞きたいのと、もう少し若い世代の意見も聞きたい。老人の考えで進んでしまいそうな気がして、心配です。老人はいままでの庁舎を残して欲しいと思っていると思うが、若い人がそれを望むかどうかは別だと思う。この会場には中部の方が多いが、僕ら東部の町内会がこの建物を残してもほとんど使うことがない。残り10年の建物を一生懸命残すことは、あまりいいとは思えない。

考える会

私どもも若い人の意見を聞きたいと思っています。西尾市在住の方には広報で、地元の一色町の方には全戸配布させていただきました。しかし、その結果がこれなんです。おっしゃるように若い方の建物に対する愛着は薄いのではないかと個人的には思います。

もっと回数を増やして若い方の意見を取り入れるなども会の中で検討しました。しかし、次年度の予算編成に影響させるとなると、あまり時間がありません。

アンケート結果の集計自体にそれほど時間はかかりませんが、自由意見欄に書かれた意見は無下には出来ません。時間一杯一杯と感じておりますので、ご容赦願いたいと思います。

考える会

ご意見ありがとうございます。補足説明します。今回の1案から4案までの検討案は平成29年度12月に行ったPFI事業市民アンケート、それから11月に行った意見交換会で出た意見をベースに、私たちのほうが検討して作らせていただいたものであります。アンケート3,000名の抽出の中には若い方の回答もありますので、その点をご理解願いたいと思います。

発言者6

会長ご苦労様です。辛口の意見を言います。

さきほどの方も言いましたが、考える会は8人なんです。今日のこの集まりも一色町の住民の代表の集まりではないです。たまたま意見を取りまとめるために、会長は代表町内会長で、それぞれいろんな立場の方がおられて、この組織を立ち上げた。今日このアンケートを取りまとめても、これが住民の声を代表するものでは決して無い。これを間違えないようにしてもらいたい。これは一部の意見。全戸配布して周知をしてこの人数。この人数をどう見るか。8人が考える会が取りまとめた一つの声です。

今回のPFIは見直し案が出てきて、前市長からのものですね。住民の声が十分に反映されていれば良かったのに、その結果がこれですからどうなのでしょう。見るも無残な格好になっていますが、時間もお金もかけなくてははいけない。簡単に答えが出るものではないと思います。

この4つの案を見てどれもいい案がない。なぜ第5案が出てこないのか。

津波の一時待避所でそのためだけの施設などとても無理。普段有効に利用している建物を、それをいざという時に避難所として活用する。防災施設は大方がそういうものですから。(避難所専用というのは)ムダそのものなんです。

賃貸という案も、Aコープの北側に空き店舗があります。新たな店が入っては潰れ、入っては潰れ。あんなところに商売人が入ってくれるのだろうか。非常に不安です。

当初の市営住宅ができると聞いた時には、なんとも言えない複雑な心境になりましたが。市は「人口が増えるからいいじゃないか」という言い方でした。

さきほどの市民アンケートの結果でも、西尾市の方と一色町の方では考え方が明らかに違いますね。市全体では建物を残すのが19%だが、一色町では48.7%と約半数近くが残せと言っている。あと10年しか寿命がないんだから大変だと思います。

一色の庁舎は昭和28年の13号台風を経験して、二度とあのような経験が無いよう2階が出入り口になった。これは役場の職員のみならず知らないんですよ。そういう防災を考えた建物なんです。

ただあと10年ということを考えると、この4つの案の中で選ぶなら、とりあえず解体して公園なのかなと。しかし、案の5が出ないかなあとと思います。考える会からいい案が出るのかなとちょっと期待していましたが残念です。

考える会

私たちが協議している中で、5つの案に増やしたり3つの案に集約したりと検討しました。しかし、この4つの案でも解釈の違いで、みなさんが望まれているものが含まれるのか、4つの案の中でも同じような案でもあり、分割した方がいいと言う意見もありました。1つの案では弱いのが、いろんな案が出ることで訴える力が強くなることもあります。われわれも迷った結果、4つの案に分けてあります。

先ほどの話でもありました、過去の市民アンケートを取られており、十人十色の意見があり、それも束ねてまとめた結果、この4案になったのです。

われわれも時間がないなかでも、拙速な判断を下すべきではない。10年しかない寿命に対し何年も協議をしては、寿命はどんどん縮みます。かたやPFI事業も一度契約をしております、契約した業者の方は訴訟を起こしております。市側の都合でストップを掛けたのだから、業者もすでに発注した部分もあるので、費用弁償を請求してきます。

結論を先送りする間に、そのような訴訟費用も増えるのです。かたや建物の寿命も減る。そのようなジレンマもあるわけです。おっしゃられるとおりに費用と時間をかけてやりたいところではありますが、ご理解いただきたいと思います。

あと誤解を招くといけませんので、私たち考える会は市からは一銭もいただいておりません。手弁当で行っております。お茶代も自分たちで出し合っています。

考える会

一色地区の皆さんの総意という捉え方は非常に難しいのかなど。少なくとも言えるのは、ここに集まっていたいただいた方の意見ということは出来ますので。お願いします。

発言者7

今まで話を聞いて非常に失望しました。

昨年度の市長との懇親会を聞いて、「旧支所は残す。津波避難所として残す。ただその使い方を地元で検討して欲しい」と言っていたはずですが、今日の話はさらに後退していて、何を今更言っているのかと思ってしまった。

10年しか持たないのに、もう半年も建っている。バリケードされたままの状態になってしまっているのは「考える会」の責任ではないのですか。

4月ぐらいに考える会が発足すると聞いて、5月ぐらいからバリケードが取れるような活動が始まるのかと思ったが、話が逆戻りしていて不満です。

一時避難場所の話で、前の台風で東部地区や寺津や巨海で避難勧告が出された。寺津や巨海は寺津中学校が避難場所だったが混み合いすぎて、自宅へ戻っていった方も見えると噂で聞いています。

西部はたまたま避難勧告が出なかったですが、もし避難勧告がでたら一時避難場所はどこに逃げればよいか。はじめから福地とかに行かなくてはいけないのか。一時避難場所なら赤羽や旧庁舎を使わなければ難しいと思います。バリケードされたままで進まない状況をどう考えますか？あの建物をどう使うか考えることは出来ないのか。今の状況では使い方も考えられない。そういう状況にしていく会自体もおかしいと思います。

考える会

僕たちは市役所の職員ではないので、もっと建設的な前向きな意見が出ることを目的としてこの会を開いているので、そのあたりをご理解いただきたいと思います。

発言者 7

解体とか市営住宅を立てるとするのは PFI の時点の話。当初の計画の市営住宅は嫌だ。建物を残してくれということで、旧庁舎をどう使うか考えてくれということではなかったのですか。

考える会

おっしゃられることはよくわかります。ただ市の執行力があるわけではないです。今言われたものはご意見として市に訴えたいと思います。

勘違いかもしれませんが、「お前たち何やってるのか」という誹りを受けているような気がしていて、戸惑っています。そういう意見がありましたということで市に伝えます。

考える会

お気持ちがストレートに伝わってひしひしと感じております。見直し案では「役場の跡地に市営住宅は建設しない。役場を利活用するか解体するかを引続き検討する」となったということで市の方も色々と考えております。

われわれが市長に会の設立報告に行った時に、市長も「地元の意見は尊重する」ということですので、その意味も含めて、時間的には限られていますが、できる範囲でわれわれは望んでおりますので、ご理解願いたいと思います。

発言者 8

今回の PFI 事業の見直しで一色地区の予算がかなり圧縮されているように思えます。減額補正をして一般財源化し、一色地区のためにとっておく。西尾市は県下のなかでも貯金が少ないんです。

また避難所についても、一色中学校地区の避難場所について先日西尾市役所に問合せました。避難場所まで 4~7 km もあるんです。これを見て西尾市はなんとも思わないのかなと思いました。とっさの場合に 4 km も 7 km も歩けません。2万3~4千人の一色の住民の避難場所を絶対に確保して欲しいと思います。

それから一色中学校は、津波の時にテレビでもよく言いますが「高台に逃げてくれ」の一点張りですね。中学生は一色の宝ですからね。一色中学校は移転すべきだと思います。

ですので予算の確保は市の責任ですが、事業を縮小したらその分を予算の手当を考えてもらいたいと思う。それから防災は市民としては第一に考えていると伝えてもらいたい。

考える会

ご意見ありがとうございます。もっと一色地区に目を向けてくれよという意見だと思います。

発言者 9

最初の意見で老人福祉センターをどうするのかと言う話は、共感しました。

お金の問題もありますが、一色の人間が幸せになるにはどうすればよいかを考えていただきたいと思います。

発言者 10

単純な質問ですが、今日の資料の中で改修費用が4億6,600万円もかかる。㎡単価25万円。坪単価75万円。1軒の家をたてるのに坪単価75万円も払えば、新築の家が立ちます。この単価が疑問に思った。

さきほど耐用年数10年ということだが、1階が10年しかもたないということで、長寿命化のための費用が別途必要ということですが、この長寿命化対策の費用は市では試算されているのでしょうか。市から聞いているかどうか確認したいです。

考える会

自分たちでいろんなデータを集めることは出来ませんので、市から情報提供いただいております。

㎡単価については、お手元にあります資料の下の※で記載がありますが、総務省が公表している改修費用の㎡単価を参考にし、㎡単価に利活用予定面積1,853㎡(2・3階部分)をかけたものとして市から情報提供いただいております。

対応年数10年ということで、その後の長寿命化の改修費用については、市の方からは聞いておりません。

発言者 11

市からいただいたこの資料というのは、おそらくPFIのために作られた試算金額だと思います。最初からの説明を聞いていまして、おおよそPFIの時に説明されたことに類似していると思うんです。

先ほどの平米(坪単価と思われる)70万という金額も、PFIの時に示されたものと同じように示されているので、前の時と同じ資料を示されても、ちょっと不安が募ります。また同じように考える会の方向性も捻じ曲げられてしまうのかなと思いますので。

今「くるりんバス」の状況を知っておられる方も見えると思いますが、計画して皆さんが最終段階まで持っていったのではなくて、毎年毎年その会に参加する方たちが変わって、その都度考え方が変わっていった結果が、今のくるりんバスの姿だということを、私は学んでいます。

「くるりんバス」も見直しの検討に入っていますけれども、先ほどの方が言われていましたけれども、単に地区の方たちが立ち上げて慌てて走っていくのは、少し危機感を感じます。いろんな方の色々な考え方を集約して、時間がないならその中でも建設的な意見を集めて考えていく必要があると思います。

一色町では子供に対する施設というのはある程度整ってきていると思う。その反面、老人や高齢化社会に対する施設が少なく不足していると思うんです。もともとのPFI事業に入っていた老人福祉センターに関する計画も頓挫したままですし、会議棟も閉められてしまい、一色高校和太鼓部の練習場所もなく、ほかのサークルの方たちも使っていましたが閉じられたままになっています。

旧一色支所、会議棟、老人福祉センターと3つの施設が止まったままです。

また、老人福祉センターの中にはデイサービスが入っています。一色町には社協関係のデイサービスが7ヶ所ありますが、一色のデイサービスは一番優れたサービスをしていますので、そのデイサービスがどこに移転すればよいのかということも、気になります。そのあたりの話も市へ持って行っていただけたらと思います。

考える会

私も社会福祉協議会の活動内容はそれなりに知っておるつもりです。

私も老人福祉センターの老朽化の状況を目視で、観察したことはあります。かなり老朽化していると感じております。

ただ旧一色支所の調査のように専門的な薬剤や機材を用いた調査はしておりません。その老人福祉センターに関しては、私ども「考える会」よりか「社会福祉協議会」の方が、市に対して訴求力があると思います。

今の大きな役場を社会福祉協議会とデイサービスだけで使うというのは、面積的にも広すぎるのではないか、何かプラスで解決しないといけないと思います。

とすると手前味噌ではありますが、第2案の「まるごと賃貸」で利用者をグループ化するのかなと考えました。賃貸料が年間1,700万と維持管理費ということで、西尾市が大家さんで、借主になるというようなことだと思います。

(3) 配布資料

- ・ 住民集会用検討資料
- ・ 一色町役場を考える会住民集会資料（スライドショー）
- ・ 「一色町役場を考える会」アンケート

住民集会用検討資料

検討案		案1	案2	案3	案4
		津波一時待避所として利用	まるごと賃貸で活用	解体して公園	売却を前提に現状維持
具体的な内容		津波一時待避所 防災倉庫	町内会や民間への賃貸	市が解体し公園として整備 地域住民が主体となって管理を行う	売却し民間の力で地域活性化 売却まで津波一時待避所、イベント時 の臨時駐車場
メリット		津波一時待避所として利用できる 災害時の備蓄ができる	町内会や民間が利用することで市民活動な どの活性化が期待できる 市の運営管理費が軽減できる(借主負担)	地域交流の拠点として公園を活用できる 地元管理により運営管理費を抑制可能	売却し民間の力で地域活性化できる 津波一時待避所として利用できる 費用(改修・維持管理)を抑えられる
デメリット		改修・運営費用がかかる 耐用年数10年が使用目安 一時待避機能は案4と重複する	借主の費用面の負担が大きい 改修費用がかかる 耐用年数10年が使用目安	公園の整備費用がかかる 一色町の中心を公園にするのはもったいな い	売却まで保全費用がかかる
検 証 項 目	改修費用は？	約5億円 ※1 〔約4億6,600万円(25万円/㎡) +アスベスト除去 約2,000~3,000万円〕	約5億円 ※1 〔約4億6,600万円(25万円/㎡) +アスベスト除去 約2,000~3,000万円〕	約1億8,000万円 〔公園整備費用約1億7,700万円 ※4〕	数十万~数百万円 〔最小限の防護柵設置(保全会バリアードなど) 災害発生時の対応設備設置(自動解除錠など)〕
	運営管理 費用は？	年間約600~650万円 ※2 (西尾市総合防災倉庫を参考)	運営管理費は借主負担 (賃貸料年額約1,700万※3+維持管理費等)	年間約200~250万円 ※5 〔市内公園除草・剪定平均費用〕 +遊具施設がある場合は別途維持管理費が必要 ※公園維持管理を地元が行う場合は管理費軽減	年間約100万円 〔H28年度旧一色町役場庁舎前緑花剪定実績〕 +建物保険・現場保全、安全対策費等も必要
	解体費用	なし 〔ただし10年経った後 解体の場合は約1億4,000万円〕	なし 〔ただし10年経った後 解体の場合は約1億4,000万円〕	約1億7,000万円 〔解体約1億4,000万円 +アスベスト除去 約2,000~3,000万円〕	約1億7,000万円 〔解体約1億4,000万円 +アスベスト除去 約2,000~3,000万円〕
	利用期間は？	残存耐用年数10年のため 延長なら長寿命化改修費が 別途必要	残存耐用年数10年のため 延長なら長寿命化改修費が 別途必要	建物は取り壊すため 考える必要はない	残存耐用年数10年の間に売却 (売却条件で一時待避所)

※1 総務省が公表している改修費用㎡単価を参考し、㎡単価×利活用予定面積1,863㎡(2・3階部分)を乗じたもの。

※2 西尾市公共施設白書(平成25年度)を参考にし、㎡単価×利活用予定面積1,863㎡(2・3階部分)を乗じたもの。

※3 賃貸料は、西尾市行政財産目的外使用料条例に基づき算出した建物・敷地を全て貸す場合の金額(年額約1,700万円)。

※4 西尾市の公園整備平均単価約2万円/㎡に旧一色町役場の敷地面積8,871㎡を乗じたもの。

※5 公園運営管理費用はH28年度旧一色町役場の管理費実績に、西尾市内公園の除草委託費平均単価140円/㎡に旧一色町役場の敷地面積8,870㎡を乗じたものを加算。

住民集会次第

※()内はスライドショーのページ

一色町役場を考える会 住民集会



平成30年11月11日(日)
一色地域交流センターホール 午後6時から

1. あいさつ・メンバー紹介 [\(スライドショーP3~4\)](#)
2. 集会の開催趣旨 [\(スライドショーP5\)](#)
3. 経緯の説明
 - (1) 考える会発足までの経緯 [\(スライドショーP6~7\)](#)
 - (2) 公共施設再配置の基本方針 [\(スライドショーP8~9\)](#)
 - (3) 旧一色町役場本庁舎の現状 [\(スライドショーP10~13\)](#)
 - (4) PFI事業市民アンケート結果等 [\(スライドショーP14~15\)](#)
4. 検討案 [\(スライドショーP16~21\)](#)
 - 案1 津波一時待避所として利用
 - 案2 まるごと賃貸で活用
 - 案3 解体して公園
 - 案4 売却を前提に現状維持
5. 質疑応答 [\(スライドショーP22\)](#)
6. アンケート記入・提出 [\(スライドショーP23\)](#)

一色町役場を考える会 住民集会



平成30年11月11日(日) 午後6時から
一色地域交流センターホール

P1

住民集会次第

1. あいさつ・メンバー紹介
2. 集会の開催趣旨
3. 経緯の説明
 - (1) 考える会発足までの経緯
 - (2) 公共施設再配置の基本方針
 - (3) 旧一色町役場本庁舎の現状
 - (4) PFI事業市民アンケート結果等
4. 検討案
5. 質疑応答
6. アンケート記入・提出



P2

1. あいさつ・メンバー紹介



現在の旧一色町役場本庁舎

P3

一色町役場を考える会メンバー

会 長	永谷	和昭	(一色地区町内会長連絡協議会長)
副会長	鈴木	治	(前一色地区交通協議会長)
	池田	吉平	(一色町の事業経営者)
	太田	利和	(にしお未来まちづくり塾生)
	神谷	早苗	(民生委員・児童委員)
	久保田	芳道	(一色防災ネットワーク代表)
	下村	堅二	(前行財政改革推進委員会委員)
	鈴木	美幸	(民生委員・児童委員)



P4

2. 集会の開催趣旨

- (1) 旧一色町役場は町の中心部にあり、バリケードで囲まれた状態がいつまでも続くのは良くない。



- (2) 旧一色町役場の問題は、一色町地区の住民の生活に大きくかわるものだから、住民の意向をまとめて市に届けていきたい。

P5

3. 経緯の説明

(1) 考える会発足までの経緯

平成23年 4月 新西尾市誕生（旧西尾市と旧幡豆郡三町が合併）



同じ機能を持つ公共施設が増加。
公共施設の再配置が必要となる。

平成24年 3月 西尾市公共施設再配置基本計画策定

平成28年 6月 PFI事業契約締結



旧一色町役場を解体し、多機能型市営住宅を建設

平成29年 7月 PFI事業の凍結・見直しを公約にかかげた
中村市長が就任

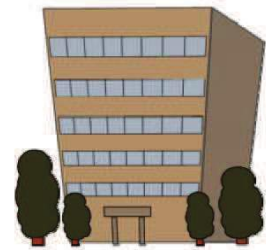
P6

平成29年10月 旧一色町役場の解体工事を中止

平成29年11月 市長と語る意見交換会（PFI事業）

平成29年12月 PFI事業見直しアンケート実施

平成30年 3月 PFI事業見直し方針公表



**多機能型市営住宅の建設はしない。
旧一色町役場は、利活用するか解体するかを引き
続き検討する。**

平成30年 6月 一色町役場を考える会が発足

平成30年 7月 西尾市役所を訪問。市長に「一色町役場を考える会」設立を報告

P7

（2）公共施設再配置の基本方針



基本方針1

人口減少に伴って、機能を維持する方策を講じながら、公共施設の保有総量を段階的に圧縮するため、原則として新たな公共施設は建設しない。ただし、政策上、新たな公共施設を計画した場合は、既存施設の廃止を進めることで、施設の保有総量の抑制を図るものとする。

基本方針2

現有の公共施設が更新（建替）時期を迎える場合、機能の優先順位に基づき施設維持の可否を決め、優先度の低い施設は原則として、すべて統廃合を検討する。

基本方針3

公共施設のマネジメント（管理）を一元化して、市民とともに公共施設再配置を推進する。

P8

簡単にまとめると。

基本方針1

新しいものは作らない。



基本方針2

優先順位の低いものは減らす。

基本方針3

市と住民が協力して進める。

これが前提！！

P9

(3) 旧一色町役場本庁舎の現状

旧一色町役場本庁舎は築50年以上が経過



昭和42年10月建築



1階天井に雨漏りの疑い

P10

残存耐用年数（安全に使用できる目安）は10年程度。



コンクリートの抜き取り



圧縮強度テストの様子

P11

耐震補強工事しても
建物自体の老化防止や、長寿命化を図るものではない。



ブレース（筋交い）の設置状況

P12

長期間利活用する場合は、建物の長寿命化の改修が必要
アスベストを含む部分があり、撤去が必要。



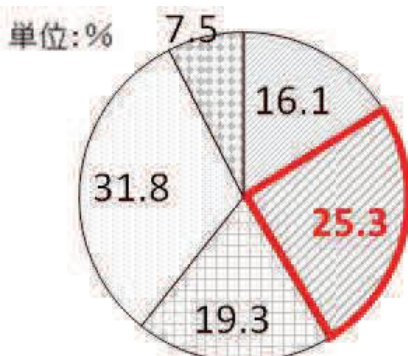
2～5階の天井の一部にアスベストを含む塗装

P13

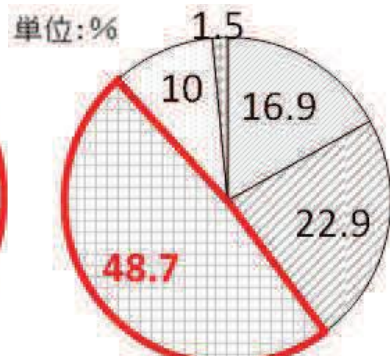
(4) PFI 事業市民アンケート結果等

問16 多機能型市営住宅について、どのようにお考えですか (単位:人)

	多機能型市営住宅を建設	旧一色支所を解体し、跡地の有効利用を検討	旧一色支所は解体せず、建物の有効利用を検討	わからない	無回答	合計
市全域	230 (16.1%)	362 (25.3%)	277 (19.3%)	455 (31.8%)	108 (7.5%)	1432 (100%)
一色地区	34 (16.9%)	46 (22.9%)	98 (48.7%)	20 (10%)	3 (1.5%)	201 (100%)



西尾市全域



一色地区

- 多機能型市営住宅を建設
- 旧一色支所を解体し、跡地の有効利用を検討
- 旧一色支所は解体せず、建物の有効利用を検討
- わからない
- 無回答

P14

意見交換会や市民アンケートからの意見

- (防 災) 避難所、防災センター、防災倉庫
- (交 流) 集会所、市民憩いの場、貸部屋
- (老人福祉) 老人施設、総合福祉センター
- (子 育 て) 子育て支援センター
- (文 化) 美術館、図書館、資料館、有名彫刻家の作品保管庫



意見交換会（一色会場）の様子



PFI事業市民アンケート

P15

4. 検討案

1. 具体的な検討案について

意見交換会や市民アンケートで出た利活用案を参考に検討しました。

2. 検討の条件

「公共施設再配置の基本方針」「費用（改修・維持管理・解体費）」「残存耐用年数（10年程度）」を踏まえたうえで検討しました。

3. 検討案は大きく分けて4つ

「考える会」で検討した結果、以下の4案にしぼりました。

- 案1 津波一時待避所として利用
- 案2 まるごと賃貸で活用
- 案3 解体して公園
- 案4 売却を前提に現状維持



P16

案1 津波一時待避所として利用

具体的な内容	津波一時待避所、防災倉庫
メリット	津波一時待避所として利用できる 災害時の備蓄ができる
デメリット	改修・運営費用がかかる 耐用年数10年が使用目安 一時待避所機能は案4と重複する
改修費用	約5億円（アスベスト除去費用含む）
運営管理費	年間約600～650万円（西尾市総合防災倉庫を参考）
解体費用	なし（ただし10年経った後解体の場合は約1億4,000万円）
利用期間	10年程度（延長利用の場合は別途長寿命化改修必要）

P17

案2 まるごと賃貸で活用

具体的な内容	町内会や民間への賃貸
メリット	町内会や民間が利用することで市民活動などの活性化が期待できる 市の運営管理費が軽減できる（借主負担）
デメリット	借主の費用面の負担が大きい 改修費用がかかる 耐用年数10年が使用目安
改修費用	約5億円（アスベスト除去費用含む）
運営管理費	運営管理費は借主負担 （賃貸料年額約1,700万円＋維持管理費等）
解体費用	なし（ただし10年経った後解体の場合は約1億4,000万円）
利用期間	10年程度（延長利用の場合は別途長寿命化改修必要）

P18

案3 解体して公園

具体的な内容	市が解体し公園として整備 地域住民が主体となって管理を行う
メリット	地域交流の拠点として公園を活用できる 地元管理により運営管理費を抑制可能
デメリット	公園の整備費用がかかる 一色町の中心を公園にするのはもったいない
改修費用	約1億8,000万円
運営管理費	年間約200～250万円（地元管理の場合は削減可）
解体費用	約1億7,000万円 （解体約1億4,000万円＋アスベスト除去約2,000～3,000万円）
利用期間	建物は取り壊すため不要

P19

案4 売却を前提に現状維持

具体的な内容	売却し民間の力で地域活性化 売却まで津波一時待避所、イベント時の臨時駐車場
メリット	売却し民間の力で地域活性化できる 津波一時待避所として利用できる 費用（改修・維持管理費）を抑えられる
デメリット	売却まで保全費用がかかる
改修費用	数十万～数百万円（防護柵、安全対策費や災害対応設備）
運営管理費	年間約100万円 （H28年度緑化剪定実績、保険、現場保全費も必要）
解体費用	約1億7,000万円 （解体約1億4,000万円＋アスベスト除去約2,000～3,000万円）
利用期間	残存耐用年数10年の間に売却（売却条件で一時待避所）

P20

考える会がまとめた4つの検討案

案1 津波一時待避所として利用

案2 まるごと賃貸で活用

案3 解体して公園

案4 売却を前提に現状維持

P21

5. 質疑応答

お願い

本日の説明の内容やみなさんにお示しした案に関する質問をお願いします。

質問される場合は、**挙手**をお願いします。

発言される前に
お住いの地区名・お名前をお願いします。

P22

6. アンケート記入・提出



- ご記入後は会場出口のアンケート回収箱にご提出下さい。
- 記載台は会場外のホワイエにありますのでご利用ください。
- 11月19日（月）午後5時まで一色町公民館内にアンケート回収箱を設置しますので、期日までにご提出ください。

今後の予定

- アンケートの集計結果は年内に市へ報告します。
- 集計結果は後日、みなさんへお知らせする予定です。

P23

ご参加ありがとうございました。

お帰りの際は、
交通安全に気をつけてお帰りください。



P24

(4) 新聞記事

- ・ 愛三時報 (11 月 13 日付記事)
- ・ 三河新報 (11 月 13 日付記事)



発行所 〒445-0072 西尾市徳次町上十五夜25 愛三時報社 TEL (0563) 56-2011 (代) FAX (0563) 57-0057 E-mail aisan@sur-net.or.jp 日刊(月・第3日曜、祝日休刊)

SSC

株式会社杉浦製作所 モノとモノをつなぐ 西尾市津波町通32 http://www.ssc-td.co.jp

一色町役場考える会 住民集会

解体有無含め4案提示

全国初の西尾市方式PFI事業第1次プロジェクトで旧一色町役場を解体後多機能型市営住宅を建設する当初計画を取りやめる市の見直し方針を受け、町民有志で発足した地域住民組織「一色町役場を考える会」(水谷和明会長)は11日、一色地域交流センターで住民集会を開いた。PFI事業の市長と語る意見交換会での意見や、市民を対象にしたPFI見直しアンケートの結果などを参考に議論を重ねて導き出した4案を説明した同会のメンバーが、参加者からの質問に答へ、4案から選択するアンケートへの協力を求めた。アンケートの集計結果は同会の住民の意見として年内に中村健市長へ報告する予定。

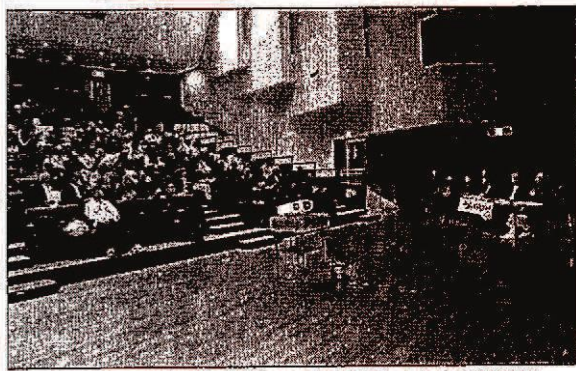
アンケート集計、市長へ報告

西尾市方式PFI事業は、事業者であるSPC(豊和を代表企業とする特別目的会社) エリアプラン西尾(水谷和明代表取締役)と事業契約をした160施設の管理運営までの包括事業。同会は今年3月に市が公表した西尾市方式PFI事業の見直し方針後、初めての住民組織として今年6月に発足した。メンバーは会長の水谷さん(一色地区町内会長連発協賛会会長)をはじめ、副会長の鈴木浩さん(前一色地区交通協賛会会長)、会員の池田吉洋さん(一色町の事業経営者)、大田利和さん(一色未来まつり)と、多機能型市営住宅の建設はしない。旧一色町役場は活用するか解体するかを引続き検討する」として見直し方針を受け、地域住民の生活に関わる問題として自主的にあり方を協議する必要があると判断。解体しない選択肢も含め、町民が望む活用方法について議論してきた。

住民集会には町民ら約150人が参加。開会あいさつで水谷会長は経緯を説明した上で「四つの案にまともな答えを求めたい。アンケートの回答をお願いします」と協力を求めた。

「旧一色町役場は町の中心部で、バリエードで囲まれた状態がいつまでも続くのは良くない。一色町地区の住民の生活に大きくかわるものだから、住民の意向をまとめて市に届けたい」と集会を開催した。長期間の改修とアスベストの除去が必要となる現状を報告した。

PFI事業市民アンケート



一色地区で開かれた住民集会で4案を提示したあとの質疑応答

下結果では多機能型市営住宅について、市全体で最も多かったのは「解体し、跡地の有効利用を検討」の25.3%に対し、一色地区で最も多かったのは「解体せず、建物の有効利用を検討」の48.7%と回答し、解体をめぐって意見が分かれ、一色地区の約半数が解体せず、建物の有効利用を検討する意向を示した。また「解体して公園」に賛成を示した上で「老人福祉施設や地域の人が共生する施設をつくってほしい」。

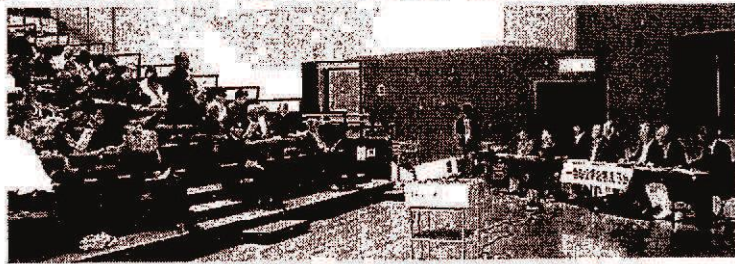
「一色町役場を残したとしても耐用年数期間は10年。解体して売却した方がいいのか。津波被害を考えると一色中学校を移転しては、」

検討案	案①	案②	案③	案④	
	津波一時待避所として利用	まるごと賃貸で活用	解体して公園	売却を前提に現状維持	
具体的な内容	津波一時待避所で利用。災害時備蓄も。	町内会や民間への賃貸。	市が解体して公園として整備。	売却し民間の力で地域活性化。	
メリット	津波一時待避所。防災倉庫。	市民活動で活性化に期待。	地域の交流拠点。	民間の力で活性化。津波一時待避所も。	
デメリット	改修・運営費用がかかる。	借主の負担大。改修・運営費用大きい。	公園の整備費用がかかる。一等地でもったいない。	売却まで保全費用がかかる。	
検証項目	改修費用	約5億円	約5億円	約1億8千万円	数十～数百万円
	運営管理費用	年間約650万円	借主負担	年間約250万円	年間約100万円
	解体費用	なし(10年後に約1億4千万円)	なし(10年後に約1億4千万円)	約1億7千万円アスベスト除去	約1億7千万円アスベスト除去
	利用期間	残存耐用年数10年。長寿命化等別途必要	残存耐用年数10年。長寿命化等別途必要	建物取り壊し	残存耐用年数10年の間に売却

「一色町役場を残したとしても耐用年数期間は10年。解体して売却した方がいいのか。津波被害を考えると一色中学校を移転しては、」

は、「老朽化が進んでいる老人福祉センターなどを移転してはどうか。」「施設ができて東部地域は使われない。若い人たちの意見を聞きたい。4案では良い案はないが、強いて言えば、解体して公園である。などの質問や意見があり、同会メンバーが答弁した。

旧一色町役場 保存、解体など4案提示 考える会が住民集会



西尾市のP.F. I事業見直しに伴い、解体工事が進んでいる旧一色支所(旧一色町役場)本庁舎の今後の取り扱いについて検討を重ねている。地域住民で組織する一色町役場を考える会(永合和昭会長)主催の住民集会「一色町役場どうする?」が十一日、一色地域交流センターで開かれ、建物を残して活用する案や解体する案など四つの検討案が発表された。二写真。

①津波一時待避所で活用
「津波一時待避所として利用」は、津波一時待避所や防災倉庫として活用するという提言。

②「まるごと賃貸で活用」
「まるごと賃貸で活用」は、町内会や民間へ賃貸するという提言。

③解体して公園に
「解体して公園」は、市の解体後に公園として整備し、地域住民が主体となって管理を行うという提言。

④売却前提に現状維持
「売却前提に現状維持」は、売却して民間の力で地域活性化を図るとともに、売却まで津波一時待避所やイベント時の臨時駐車場として活用するという提言。

「まるごと賃貸で活用」は、町内会や民間へ賃貸するという提言。メリットは、町内会や民間が利用することで市民活動などの活性化が期待でき、市の運営管理費が軽減できることを挙げた。デメリットは、借主は利用できないが、延長利用の場合は長寿命化改修が必要となる。また、耐用年数十年が使用目安とした。改修費用は、アスベスト除去費用を含んで約五億円を見込み、運営管理費は借主負担となる。両案とも当面、解体費用を見込んで、十年程度は利用できるが、延長利用の場合は長寿命化改修が必要となる。

「解体して公園」は、市の解体後に公園として整備し、地域住民が主体となって管理を行うという提言。メリットは、地域交流の拠点として公園を活用できることや、地元管理により運営管理費を抑制できることを挙げた。デメリットは、公園の整備費用がかかることや一色町の中心を公園にするもったいないなどとした。改修費用は約一億八千万円で、運営管理費は年間約二百二十万五千円を見込んでいた。また、一色町役場はバリエードに囲まれ、もったいない有り様と多くの皆さんが感じていると思う。中心地は中心地らしい姿であるべき。意図的に誘導する色付けはせず、あくまで客観的に案を提示する。その上で選ぶのは皆さん方になる。四十時間ほど検討を重ね、四つの案に集約した。大きく二

万人で、そのうちアスベスト除去は約二千三万円と試算した。

「売却前提に現状維持」は、建物をはばこのまま残して活用するのが、壊して更地にして活用するのに分けた。どうしたら良いか、考えをアンケートに託してほしいとあいさつした。

続いて、集会の開催趣旨や活動経緯の説明、検討案の発表が行われた。住民からは「個人的には③案と、そこに新たな施設を造ってもらいたい。あの土地は住民の宝財産として残してもらいたい。地域共生型の福祉施設と公園にしたらどうか。や一本当は残してほしい」という強い思いがあつて来たが、耐用年数は十年という点で、そうだろうと思える。解体して売却した方が良くと思えてきた。公共性のあるものがたくさんあるの十分ではないか」という意見が出された。

また「津波一時待避所が必要と思っているが、管理人がいなくてどうかと思う。多機能避難施設を造ってはどうか?」や「解体し公園とあるが、地域共生型の施設などを付け加えてほしい。まちの中心地であるような活力のあるものを造ってほしい」といった提言があつた。

さらに「もつと若い人の意見を入れないと高齢者の考えで進んで心配だ。庁舎を残しても東部の町内会はほとんど使うことがないと思う。一生懸命に残すのは、あまり良いとは思えない」と一集会は住民を代表した集まりではない。アンケートをまとめても住民の声を代表したものでない。これは間違えないでほしい。八人がまとめた声だなどという声もあつた。

能く堪能品メイドハンド

人の意見をいれないと高齢者の考えで進んで心配だ。庁舎を残しても東部の町内会はほとんど使うことがないと思う。一生懸命に残すのは、あまり良いとは思えない」と一集会は住民を代表した集まりではない。アンケートをまとめても住民の声を代表したものでない。これは間違えないでほしい。八人がまとめた声だなどという声もあつた。

集会で配布されたアンケートは十九日まで一色町公民館に回収箱を設置して回収。集計結果は年内に市へ報告することも住民にも周知する予定。

毎週末曜日(土)は「セシルセルフレ」ナビ付5人乗用カートセルフ7,800円
12月の日程: 15日、22日、29日(各木曜日)
11月の日程: 6日、13日、20日、27日(各木曜日)
1月の日程: 10日、17日、24日、31日(各木曜日)
西尾市ゴルフクラブ(0563)7212111

※お値打ちプライスを貴方へ、ご予約をお待ち申し上げます

西尾市指定給水装置工事業者
西尾市排水設備指定工事店

水と共に走り続けて

岩瀬工業株式会社

SINCE 1946

代表取締役 岩瀬啓太

西尾市一色町一色乾地176番地
TEL: 0563-72-8367

泌尿器科・内科・外科・麻酔科
リハビリテーション科・小児科

医療法人 泌尿器科

榊原内科クリニック

西尾市米津町里225
(米津大橋西700m)
☎56-8558

ネットにつながる
自分のまち

三河新報社
shinpo.web

検索 ↑

(5) その他

- ・ 住民集会周知チラシ
- ・ 住民集会参加者の意見として提出された図面

一色町役場

どうする？

一色町の
ここが好き

住民 集会

届けよう

私たちの声を

決めるのはあなた！

災害の拠点として
利用したら
どうだろう。

いっそ民間で
活用して
もらったら。

公園になったら
いいね？

町内会や地域の
みんなが
利用できるように
貸してもらえる？

開催の趣旨、目的

一色町役場

あのままの状態がいつまでも続くのは…
会で検討してきたことを説明して、
住民アンケートをまとめたい。
それを一色町民の声として市に届けたい。
そんな想いです。是非ご参加下さい。



一色のことを思っている方
**誰でも
参加
できます。**

開催日時・場所 平成30年

11月11日(日)

午後6時～ (開場5:30～)

一色町公民館
一色地域交流センター

- 主催：一色町役場を考える会 ●協力：西尾市
- 問い合わせ先：一色町役場を考える会 会長 永谷和昭 0563-72-2892

1時遊藝場所 500人集客?

世帯用
マシソン
(却て設置)
(規約の改定実行義務)

2	3	4		
5	7	8		
9	11	12		
13	14	16		
17	18	20		
2	3	4	5	6
8	9	10	11	12
2	3	4	5	6

1時遊藝場所 500人集客可?

体育館機能

※災害時仮住居場所 (美能広場)

体育館機能

卓球 バレー バスケ 剣道他(何れか出来る)

※災害時仮住居場所

Bがに替わるプール
和色追加設備は?

一色町舎跡地利用案

(エリアンプリン/会社運営&念頭に置いています)

収支は毎年検討し、改善、不足部分は市補助

(入口)

イベント

大人と子供の広場(遊び学び)

(内容)

老人 福祉センター
(一色老人福祉センター代替用)

(内容追加)

高合着
マシソン
高合着
マシソン
各種サクル
の事務所